

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	13-012	16-009	16-019
			小野 千佐子	下山 陽介	山本 和美
派遣先（名称）	妊産婦ケア推進プロジェクトママにいいこと				
派遣計画書の内容	初回ヒアリング	2024年5月28日	3回次	仕組み作りとネーミングやアイコン検討	
	1回次	わらしべメソッドの洗い出し	4回次	将来に向けての収益化	
	2回次	みんなの課題をふかぼりしてみよう！	5回次	予備日	
派遣回次	4回次		派遣日時	2024年10月30日18:35～20:15	
参加者	地域	5名	人材事務局	3名 1名	区役所 まちセン 名 （ 名 ）
活動内容	<p>●派遣依頼内容</p> <p>えほんpicnic様から「かえっこえほんわらしべmethod」を引継ぎ活動させて頂くことになりました。えほんpicnic様が大切にされていた事を引継ぎながら、「ママにいいこと」というカラーをどうマッチングさせていけばいいか、ディスカッションの支援。</p> <p>●支援内容・プログラム</p> <p>前回決定したプレスタートの実施を経て、感じたことや課題の共有、および今後に向けてのディスカッションを支援した。具体的な成果は以下の通り。</p> <p>●成果</p> <p>団体のAさんの運営する店舗にて試験的に本のスペースを設け、「かえっこ」を行ってみたところ、1ヵ月半ほどの間で2回の交換、数回の貸出があった。実際の試験運用を通して課題として「説明が大変」「難しい本の扱いに困った」「顧客属性によってかえっこのニーズが違う」などが挙げられた。一方で、「想定よりも反応が良い」「交換対象が1冊限定だと管理や発信がしやすい」「やっぱり本を通して人間性が見えることが面白い」などの良かった側面も意見が挙がった。特に、本を通じて持ち主の人の柄が想起され、その印象が繋がりを生んでいく点にメンバーの興味が集まった。これらの振り返りを踏まえ、団体のAさんの拠点のみではなく、各メンバーそれぞれが実施しやすい形で何らかの「かえっこ」を試験的に行ってみる。また、本事業の名称について言及したところ「本をきっかけに」でスムーズに合意形成されたため、仮称として進めていくこととした。</p> <p>●今後の予定</p> <p>次回、各メンバーの試みをもとに、得られた知見や課題を共有する場を持つ。それらの振り返りから本事業の輪郭をより鮮明にすべく協議を行っていく。</p>				
所感	登録no.	名前	所感		
			プレスタートで、本が人をつなぐ、持ち主の人となり表現をするということを実感をもって理解できたことは大きな成果だと思う。また、団体内で自らやってみたいという意欲的な発言もあり、今後が楽しみに思います。団体の結束力（プロジェクトごとに集まって活動している）が活動の継続につながると思われるため、この活動をより楽しく魅力があるとメンバーが感じるようにしていきたい。		
			ディスカッションの方向が様々な方向に向きやすく、議論の軸を定めることが難しいファシリであったと感じるが、人材リーダーの舵取りで今回はうまく着地出来たように思う。各メンバーが納得して前に進んでいくために、自分たちに合ったブラッシュアップの道筋を見出せるよう進めていきたい。		
			実際に運営する事で見えてきたことを中心に、今後の運営方法などを話合う事になるのかと考えていると、少しずつ各自が出来る事へと論点が移って行くので今回は人材リーダーの舵取りと人材Bさんの議論の修正があって次のステップへもって行けた。今回までは団体のAさんの負担が大きいと感じていたがこれからは団体内の各自がそれぞれの形で運営方法を模索するという事になったので次回の経過報告に期待したい。		